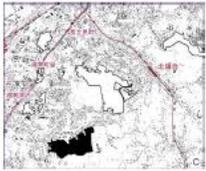


**〈常盤山〉**

- C 渓谷生落葉樹自然林
- E 常緑・落葉広葉樹混生二次林
- G 落葉広葉樹二次林
- I 林縁生低木・ツル植物
- J1 乾性草地
- J2 畑耕作地
- L1 竹林
- L2 針葉樹植林
- L4 緑化地
- M 人工地



0 50 100 200m N



**常盤山**



ミズキ群落  
二次林で林の高さは18m位です。  
林床にはアズマネザサやアオキが多く見られます。



キマワリ



ウラギンシジミ (左は羽を広げたとき、右は閉じたときです)




ジムグリ



エンマコオロギ



センチコガネ



オシハリ・コナラ群集  
林床にはアズマネザサが密生し、構成種の少ないコナラ林です。木の高さは20mにもなる林で、ジャノヒゲやテイカカズラなどがアズマネザサの下に生育しています。



タイワンリスにかじられたエゴノキの実です。



スギ植林  
林の高さは25m位です。  
林床にはシダ植物など30種以上の植物が生育しています。

**常盤山**

◆調査確認種数

植物：80科206種  
 動物  
 哺乳類：モグラ、アカネズミ他 3科3種  
 鳥類：15科22種  
 爬虫類：トカゲ、カナヘビ、ジムグリ 3科3種  
 昆虫類：68科185種

◆特記事項

常盤山の植物は、関東地方を北限とするカラタチバナやカゴノキ等が確認され、温暖な気候下の植物相の特徴を表している一方で、関東地方を南限とするツクバトリカブトも多く確認されました。

サルナシが確認されましたが、地元市民によると、市域西部にはたいへん少ないとのこと。また、昔、フクロウの巣があったという市民情報も得られました。